

学校関係者評価報告書

愛媛県立伊予高等学校(その1)

学校番号 29

評価実施日		令和4年2月17日(木)	
委員	氏名	所属等	備考

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>(1) 学習指導</p> <p>「分かる授業」の実践はできているようであるので、家庭学習時間の減少のため、学力が定着していないのではないか。どこの学校も同じ問題に直面していると思う。</p> <p>家庭学習時間の確保と学力向上を自覚できない生徒の関係が深いのではないのでしょうか。</p> <p>生徒・保護者の啓発を行い、自己実現に向けてどういう道筋を立てていけばよいか個別に教育相談を繰り返す。</p> <p>授業を理解できている、自分の学力が向上している、と答えている生徒、保護者の割合が高い。先生方の努力の結果であると思う。</p> <p>生徒による授業アンケートにおいて、ほとんどの項目で「思う」「だいたい思う」が多数であり、評価できる。</p>	<p>家庭学習の定着は、本校の長年の課題である。課題(宿題)の内容や量を更に検討し、家庭学習時間の確保により、学力向上を図りたい。一人一台端末を用いることで個々の学習課題を解決する手段になり得るので、今後も研究を続けていきたい。</p>
<p>(2) 生活指導</p> <p>社会規範や遅刻を減らす指導では効果が出ている。</p> <p>挨拶に対して生徒と教員の差がやや大きいように思う。中学校でも同じような結果になっている。継続して指導していくしかないと思う。</p> <p>伊予高校の生徒の姿を見ることのできる地域の人たちがどう見てくれているかも大切な評価だと思う。</p> <p>身だしなみを守る意識から行動面へつながるよう指導していただきたい。</p> <p>生徒指導面での充実が顕著である。先生と生徒が一体となり取り組んでいる。先生方がチームを組み、迅速な対応ができています。</p> <p>人権意識、身だしなみ指導、社会規範の指導、悩み相談等、生徒や保護者からの評価も高い。</p>	<p>コロナの影響を言い訳にせず、心を込めて気持ちのよい挨拶をする習慣を、学校生活のあらゆる場面で定着させたい。</p> <p>伊予高生の将来像を見据えて、身だしなみや制服の在り方を再検討したい。まずは生徒や保護者から多く意見があった靴下の色の規程を変更する。</p> <p>生徒の些細な変化や行動を見逃さず、関係教員で早期に情報共有することで、問題行動の未然防止に努めたい。</p>
<p>(3) 特別活動</p> <p>生徒数の減少で部活動指導も大変だと思うが、アンケートではよい結果が出ている。</p> <p>コロナ禍、先生も生徒もストレスの多い中での活動。生徒たちの評価は高く、制限の中での工夫した活動への努力を感じる。</p> <p>生徒主体の活動をこれからも心掛けていただきたい。</p> <p>明るい服プロジェクト、子ども食堂への参加、募金活動等、ボランティアの活躍は、地域として嬉しく思う。</p> <p>アンケートで生徒、保護者の評価が高い。運動部で活動を希望する生徒が少ないのが気になる。運動でも元気に頑張してほしい。</p>	<p>学校行事は本校の大きな魅力の一つである。コロナ禍の影響で活動の制限はあるが、できる限り充実を図り、生徒により多くの経験をさせていきたい。</p> <p>部活動加入率は92.5%であり、多くの生徒が熱心に活動できているが、運動部活動離れが見られる。スポーツの楽しさや喜びを味わう中で自主性、協調性、責任感、連帯感を育む指導の工夫・研究を行いたい。</p>

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>(4) 進路指導</p> <p>男子に比べて女子の大学進学率が低いというニュースが流れたが、大学で何を学びたいのかという意識を明確にすることが大切ではないか。</p> <p>生徒一人一人に応じた、性格、能力にあったvisionを一年生から示して、それに向けてサポートして欲しい。</p> <p>アンケートでは良い評価だが、生徒のランキングでは中程度である。進学実績が外部の人からも分かりやすいようにしてはどうか。</p> <p>普通科であり、進路（進学）の実績が学校の評価に大きく影響を与えると思う。</p> <p>最後まで丁寧に対応していただきました。ありがとうございました。</p>	<p>低学年から定期的に進路希望調査をし、生徒の希望に応じた指導ができるよう、ホームルーム担任や学年、教科との連携を更に図っていききたい。</p> <p>今年度まで、年度末に最終的に確定した進路状況をHP等に掲載していたが、今後は随時掲載するようにしていきたい。また、受験希望者が多い地元の学校については、細かな情報提供をしていきたい。</p>
<p>(5) 人権教育</p> <p>いじめ問題も含め、実践のための工夫が大切であると思う。</p> <p>アンケートで生徒、保護者の評価が良く、ランキングも上位である。</p> <p>地域連携が取れている。中予地区人権・同和教育研究協議会の分科会では、多くの参加者を得た。</p> <p>ホームルームでの学びを日々の生活の中で生かせるように心を育てていただきたい。</p>	<p>いじめ問題については、特に教職員全体の共通理解を図り、引き続き生徒に寄り添った指導を心掛けたい。</p> <p>来年度もコロナ禍による研修会や集会等の制限が予想される中、他の効果的な方法を模索し、校内外の連携を密にした人権教育に取り組みたい。</p>
<p>(6) 読書指導</p> <p>多様なメディアの影響で、ますます読書に多くの時間をかけない風潮で仕方ないと思うが、せめて新聞を読む、考える生徒の育成を。</p> <p>読書習慣を通して生涯学び続ける生活の一部としてのライフスタイルを身に付けさせてほしい。</p> <p>朝の読書の時間は、読書の習慣がない子どもたちにとって本に触れるいい機会になっていると思う。これからも継続してほしい。</p> <p>アンケートで生徒や保護者の評価が比較的低く、ランキングでも下位である。</p>	<p>一人一台端末の導入により、学習活動における情報の収集をインターネットだけに頼る傾向が強まったと感じる。正確な情報を収集し、物事を多面的に考察する力が身に付けられるよう、各教科や学年に図書館の活用を促したい。生徒の自主的・自発的な学習活動や読書活動を支えられるよう、図書館資料の充実を図りたい。</p> <p>朝の読書では学級文庫を利用している者が多いので、選書を工夫したい。</p>
<p>(7) 学校経営</p> <p>マニフェスト達成率80%は素晴らしいと思う。達成内容のレベルを少しずつアップしていけるといい。</p> <p>マニフェストも立派な内容であり、生徒、保護者からの評価も良い。</p> <p>「愛校心」を先生も生徒ももっと培ってほしい。先輩も後輩も誇り高き伊予高校と思えるように意識改革を願う。</p> <p>学校として正すべきところ、譲れない一線があると思うが、意識統一をして取り組む必要がある。</p> <p>生徒のニーズを捉え、もう一段階絞り込んだ学科の検討をしてはどうか。</p> <p>教育相談と進路の実現を通して魅力ある学校として地域の生徒を育ててほしい。地域の学校として設立された当初のように、中学生や保護者が選んで進学したくなる学校に、ぜひしてもらいたい。</p> <p>先生方の意識改革が第一だと思う。</p>	<p>マニフェストの達成については、一定の評価をいただいている。評価が連続して高い項目については、目標値を見直すなどして、より高みを目指したい。</p> <p>「愛心校」の醸成については、次年度に40周年を迎えることから、様々な機会を捉えて学校に誇りを持てるよう、意識啓発に努めたい。</p> <p>学科の新設については、現在、再編整備計画に基づいて、地域を交えた協議がなされているところである。本校としては、現在あるコースの魅力に一層磨きをかけ、生徒のニーズに応えたいと考えている。</p> <p>学校の魅力化に関しては、引き続き教育相談と進路実現の充実を図るとともに、地域との連携を深めながら中学生等に向けて、学校の魅力を伝えていきたい。</p>